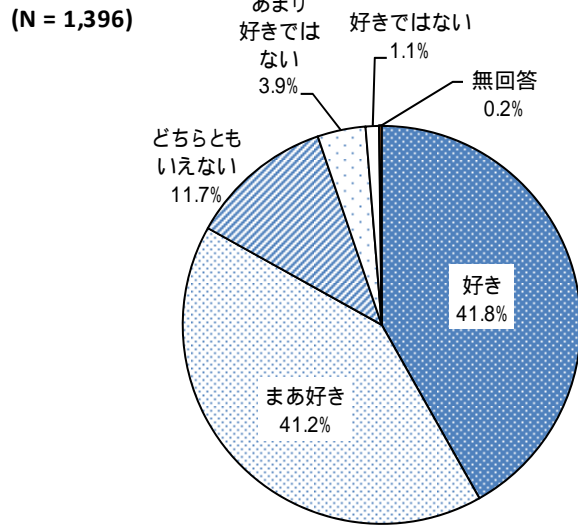


調査の結果

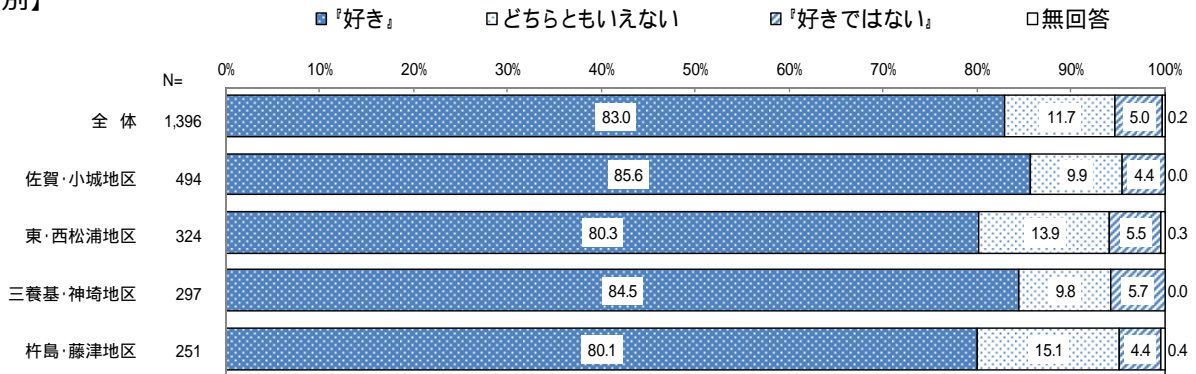
1. お住まいの地域が好きですか

問1 お住まいの地域が好きですか。(○は1つだけ)



全体では、「好き」が41.8%と最も高く、次いで「まあ好き」が41.2%、「どちらともいえない」が11.7%となっている。『好き』（「好き」と「まあ好き」を合算、以下同様）が83.0%と大半を占めており、『好きではない』（「好きではない」と「あまり好きではない」を合算、以下同様）は5.0%となっている。

【エリア別】



エリア	回答件数 (件)	好き	まあ好き	どちらともいえない	あまり好きではない	好きではない	無回答	『好き』	『好きではない』
全体	1,396	41.8%	41.2%	11.7%	3.9%	1.1%	0.2%	83.0%	5.0%
佐賀・小城地区	494	42.1%	43.5%	9.9%	3.2%	1.2%	0.0%	85.6%	4.4%
東・西松浦地区	324	42.3%	38.0%	13.9%	4.9%	0.6%	0.3%	80.3%	5.5%
三養基・神埼地区	297	45.8%	38.7%	9.8%	3.7%	2.0%	0.0%	84.5%	5.7%
杵島・藤津地区	251	35.5%	44.6%	15.1%	3.6%	0.8%	0.4%	80.1%	4.4%

エリア別にみると、すべてのエリアで『好き』が8割を超えており、特に<佐賀・小城地区> <三養基・神埼地区>では8割半ばと他のエリアに比べてやや高い。また、<三養基・神埼地区>では県外居住年数が「10年以上」の方が最も多い(38.0%)が、『好き』は84.5%と県平均を上回っている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	好き	まあ好き	どちらとも いえない	あまり好き ではない	好きでは ない	無回答	『好き』	『好きでは ない』
全体	1,396	41.8%	41.2%	11.7%	3.9%	1.1%	0.2%	83.0%	5.0%
男性	665	43.9%	43.0%	10.1%	2.1%	0.9%	0.0%	86.9%	3.0%
女性	707	39.9%	39.7%	13.3%	5.7%	1.3%	0.1%	79.6%	7.0%

性別にみると、『好き』は＜男性＞で86.9%、＜女性＞で79.6%と、＜男性＞の方がやや高い。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	好き	まあ好き	どちらとも いえない	あまり好き ではない	好きでは ない	無回答	『好き』	『好きでは ない』
全体	1,396	41.8%	41.2%	11.7%	3.9%	1.1%	0.2%	83.0%	5.0%
18・19歳	17	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
20～29歳	45	53.3%	35.6%	6.7%	2.2%	2.2%	0.0%	88.9%	4.4%
30～39歳	116	32.8%	46.6%	13.8%	5.2%	1.7%	0.0%	79.4%	6.9%
40～49歳	230	37.4%	45.2%	13.5%	3.0%	0.9%	0.0%	82.6%	3.9%
50～59歳	321	39.6%	41.7%	12.5%	4.7%	1.6%	0.0%	81.3%	6.3%
60～69歳	399	42.1%	41.1%	11.8%	4.3%	0.5%	0.3%	83.2%	4.8%
70歳以上	243	48.1%	37.9%	9.9%	2.9%	0.8%	0.4%	86.0%	3.7%

年齢別にみると、『好き』は＜18・19歳＞＜20～29歳＞＜70歳以上＞で8割半ばを超えて比較的高く、一方、＜30～39歳＞では唯一8割を下回っている。

【県外居住年数別】

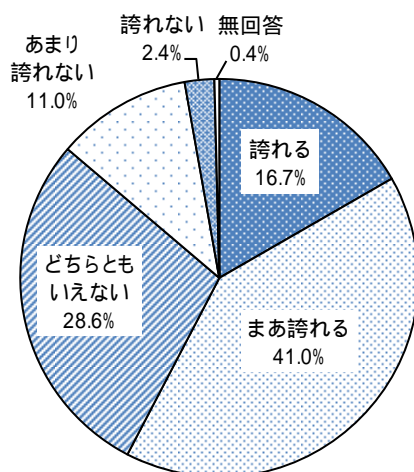
県外居住年数	回答件数 (件)	好き	まあ好き	どちらとも いえない	あまり好き ではない	好きでは ない	無回答	『好き』	『好きでは ない』
全体	1,396	41.8%	41.2%	11.7%	3.9%	1.1%	0.2%	83.0%	5.0%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	43.9%	40.1%	11.4%	3.8%	0.7%	0.0%	84.0%	4.5%
2年未満	94	43.6%	41.5%	12.8%	0.0%	1.1%	1.1%	85.1%	1.1%
2～5年未満	202	40.6%	46.5%	8.4%	3.5%	1.0%	0.0%	87.1%	4.5%
5～10年未満	152	40.1%	38.2%	17.1%	3.9%	0.7%	0.0%	78.3%	4.6%
10年以上	347	37.8%	42.4%	11.5%	5.8%	2.3%	0.3%	80.2%	8.1%

県外居住年数別にみると、『好き』は＜5～10年未満＞＜10年以上＞で他の区分に比べてやや低い。また、『好きではない』は＜10年以上＞が最も高くなっている。

2. お住まいの地域や佐賀県のことを誇れますか

問2 お住まいの地域や佐賀県のことを県外の人にどのくらい誇れますか。(○は1つだけ)

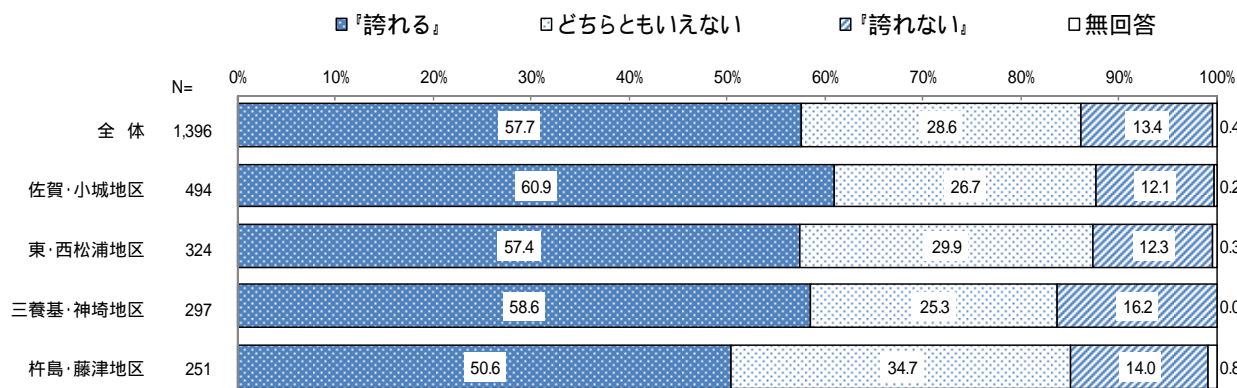
(N = 1,396)



全体では、「まあ誇れる」が41.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.6%、「誇れる」が16.7%となっている。

『誇れる』（「誇れる」と「まあ誇れる」を合算、以下同様）が57.7%と過半数を占めており、『誇れない』（「誇れない」と「あまり誇れない」を合算、以下同様）は13.4%にとどまっている。

【エリア別】



エリア	回答件数 (件)	誇れる	まあ誇れる	どちらともいえない	あまり誇れない	誇れない	無回答	『誇れる』	『誇れない』
全体	1,396	16.7%	41.0%	28.6%	11.0%	2.4%	0.4%	57.7%	13.4%
佐賀・小城地区	494	19.6%	41.3%	26.7%	10.1%	2.0%	0.2%	60.9%	12.1%
東・西松浦地区	324	13.9%	43.5%	29.9%	11.1%	1.2%	0.3%	57.4%	12.3%
三養基・神埼地区	297	16.2%	42.4%	25.3%	12.5%	3.7%	0.0%	58.6%	16.2%
杵島・藤津地区	251	15.5%	35.1%	34.7%	11.2%	2.8%	0.8%	50.6%	14.0%

エリア別にみると、すべてのエリアで『誇れる』が5割を超えている。『誇れる』の割合は、＜佐賀・小城地区＞＜東・西松浦地区＞＜三養基・神埼地区＞で6割前後であるのに対し、＜杵島・藤津地区＞では約5割と、他のエリアに比べて低くなっている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	誇れる	まあ誇れる	どちらとも いえない	あまり 誇れない	誇れない	無回答	『誇れる』	『誇れない』
全体	1,396	16.7%	41.0%	28.6%	11.0%	2.4%	0.4%	57.7%	13.4%
男性	665	17.1%	42.0%	27.1%	11.3%	2.4%	0.2%	59.1%	13.7%
女性	707	16.4%	40.0%	30.1%	10.9%	2.3%	0.3%	56.4%	13.2%

性別にみると、『誇れる』は＜男性＞で 59.1%、＜女性＞で 56.4%と、大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	誇れる	まあ誇れる	どちらとも いえない	あまり 誇れない	誇れない	無回答	『誇れる』	『誇れない』
全体	1,396	16.7%	41.0%	28.6%	11.0%	2.4%	0.4%	57.7%	13.4%
18・19歳	17	23.5%	41.2%	17.6%	11.8%	5.9%	0.0%	64.7%	17.7%
20～29歳	45	17.8%	40.0%	26.7%	6.7%	8.9%	0.0%	57.8%	15.6%
30～39歳	116	15.5%	41.4%	25.0%	14.7%	3.4%	0.0%	56.9%	18.1%
40～49歳	230	11.3%	39.6%	33.9%	12.6%	2.6%	0.0%	50.9%	15.2%
50～59歳	321	14.0%	38.6%	31.5%	12.5%	3.4%	0.0%	52.6%	15.9%
60～69歳	399	18.5%	41.9%	27.3%	10.8%	0.8%	0.8%	60.4%	11.6%
70歳以上	243	22.6%	44.0%	24.7%	7.0%	1.2%	0.4%	66.6%	8.2%

年齢別にみると、『誇れる』はすべての年齢層で 5 割を超えており、特に＜18・19 歳＞＜60～69 歳＞＜70 歳以上＞では 6 割以上と、他の年齢層に比べて高い傾向がみられる。また、『誇れない』は＜18・19 歳＞で 17.7%、＜30～39 歳＞で 18.1%と県平均を 4～5 ポイント上回っている。

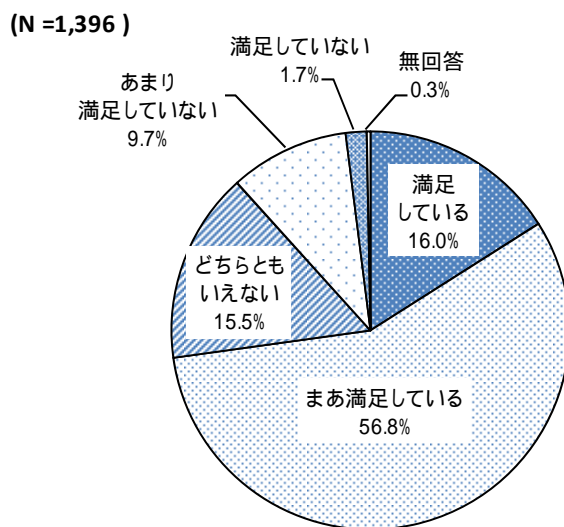
【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	誇れる	まあ誇れる	どちらとも いえない	あまり 誇れない	誇れない	無回答	『誇れる』	『誇れない』
全体	1,396	16.7%	41.0%	28.6%	11.0%	2.4%	0.4%	57.7%	13.4%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	18.1%	40.0%	30.7%	9.6%	1.6%	0.0%	58.1%	11.2%
2年未満	94	23.4%	45.7%	21.3%	7.4%	1.1%	1.1%	69.1%	8.5%
2～5年未満	202	16.3%	46.5%	25.2%	9.9%	2.0%	0.0%	62.8%	11.9%
5～10年未満	152	16.4%	40.1%	32.2%	7.9%	3.3%	0.0%	56.5%	11.2%
10年以上	347	12.7%	38.9%	27.4%	16.1%	4.0%	0.9%	51.6%	20.1%

県外居住年数別にみると、『誇れる』はすべての区分で 5 割を超えており、特に＜2 年未満＞＜2～5 年未満＞では 6 割以上と、他の区分に比べて高い傾向がみられる。また、『誇れない』は＜10 年以上＞で 20.1%を占めており、唯一県平均を上回っている。

3. 日常生活での満足度

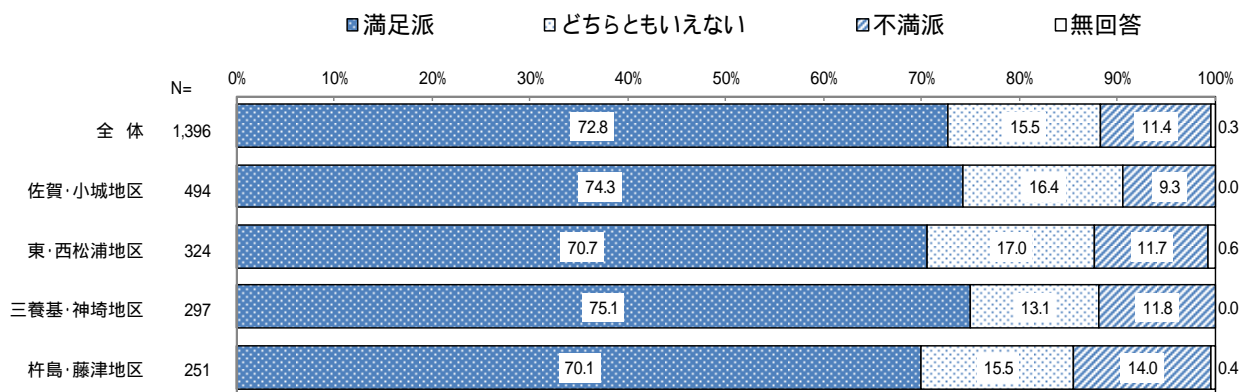
問3 あなたは日常生活にどのくらい満足していますか。(○は1つだけ)



全体では、「まあ満足している」が 56.8%と過半数を占めており、次いで「満足している」が 16.0%、「どちらともいえない」が 15.5%となっている。

『満足派』（「満足している」と「まあ満足している」を合算、以下同様）が 72.8%と 7 割強を占めており、『不満派』（「満足していない」と「あまり満足していない」を合算、以下同様）は 11.4%にとどまっている。

【エリア別】



エリア	回答件数 (件)	満足度					満足派 / 不満派		
		満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答	満足派	不満派
全体	1,396	16.0%	56.8%	15.5%	9.7%	1.7%	0.3%	72.8%	11.4%
佐賀・小城地区	494	19.0%	55.3%	16.4%	8.3%	1.0%	0.0%	74.3%	9.3%
東・西松浦地区	324	10.8%	59.9%	17.0%	10.5%	1.2%	0.6%	70.7%	11.7%
三養基・神埼地区	297	18.9%	56.2%	13.1%	10.1%	1.7%	0.0%	75.1%	11.8%
杵島・藤津地区	251	13.5%	56.6%	15.5%	11.2%	2.8%	0.4%	70.1%	14.0%

エリア別にみると、すべてのエリアで『満足派』が 7 割を超えており、特に<佐賀・小城地区> <三養基・神埼地区>では 7 割半ばと他のエリアに比べてやや高い。

【性別】

性別	回答件数 (件)	満足している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	満足して いない	無回答	満足派	不満派
全体	1,396	16.0%	56.8%	15.5%	9.7%	1.7%	0.3%	72.8%	11.4%
男性	665	15.8%	57.1%	17.1%	8.3%	1.7%	0.0%	72.9%	10.0%
女性	707	16.4%	56.7%	14.1%	10.9%	1.6%	0.3%	73.1%	12.5%

性別にみると、『満足派』は<男性>で72.9%、<女性>で73.1%と、大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	満足している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	満足して いない	無回答	満足派	不満派
全体	1,396	16.0%	56.8%	15.5%	9.7%	1.7%	0.3%	72.8%	11.4%
18・19歳	17	58.8%	29.4%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	88.2%	5.9%
20～29歳	45	13.3%	40.0%	22.2%	13.3%	11.1%	0.0%	53.3%	24.4%
30～39歳	116	14.7%	55.2%	16.4%	12.1%	1.7%	0.0%	69.9%	13.8%
40～49歳	230	13.9%	50.9%	23.0%	10.4%	1.7%	0.0%	64.8%	12.1%
50～59歳	321	12.5%	56.7%	14.0%	14.6%	1.9%	0.3%	69.2%	16.5%
60～69歳	399	18.0%	60.9%	13.5%	7.3%	0.0%	0.3%	78.9%	7.3%
70歳以上	243	18.1%	62.1%	12.8%	4.9%	1.6%	0.4%	80.2%	6.5%

年齢別にみると、『満足派』はすべての年齢層で5割を超えており、特に<18・19歳> <70歳以上>では8割以上と、他の年齢層に比べて特に高い。一方で、<20～29歳>では唯一5割台と満足度が比較的低く、『不満派』も24.4%と県平均を大きく上回っている。

【県外居住年数別】

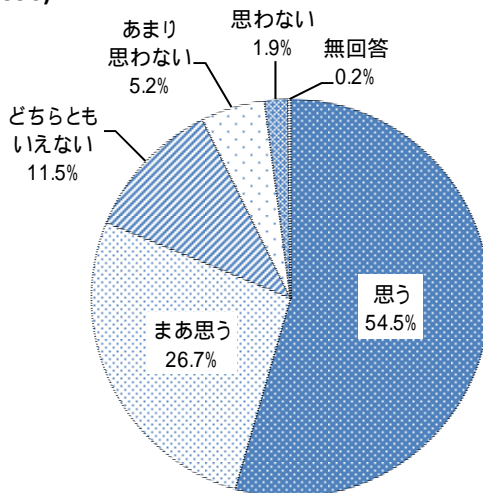
県外居住年数	回答件数 (件)	満足している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	満足して いない	無回答	満足派	不満派
全体	1,396	16.0%	56.8%	15.5%	9.7%	1.7%	0.3%	72.8%	11.4%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	17.2%	55.7%	16.1%	9.9%	1.1%	0.0%	72.9%	11.0%
2年未満	94	18.1%	53.2%	14.9%	10.6%	2.1%	1.1%	71.3%	12.7%
2～5年未満	202	17.8%	58.9%	14.4%	6.9%	1.5%	0.5%	76.7%	8.4%
5～10年未満	152	11.2%	55.3%	19.1%	11.8%	2.6%	0.0%	66.5%	14.4%
10年以上	347	14.1%	59.1%	14.4%	10.1%	2.0%	0.3%	73.2%	12.1%

県外居住年数別にみると、<5～10年未満>では『満足派』が唯一6割台にとどまっているが、それ以外のすべての区分では7割を超えている。

4. お住まいの地域に住み続けたいですか

問 4 いま、お住まいの地域（佐賀県）に住み続けたいと思いますか。（○は1つだけ）

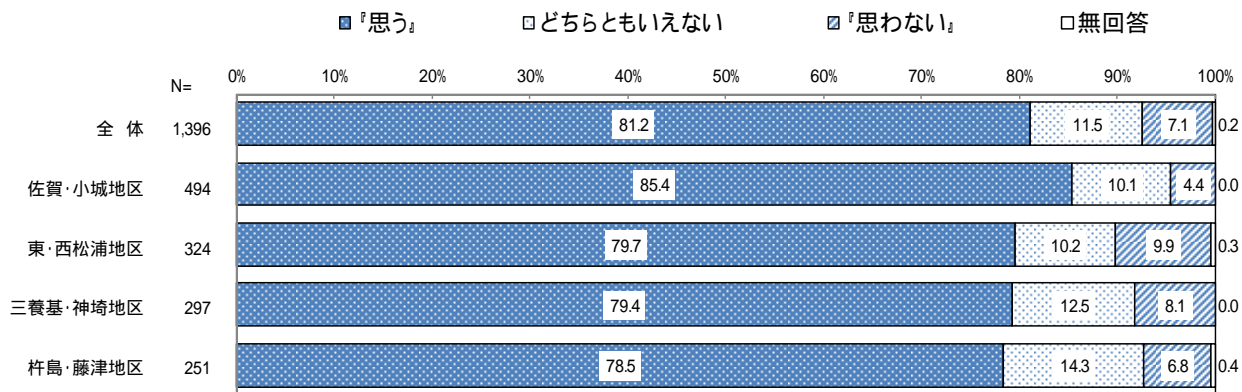
(N = 1,396)



全体では、「思う」が 54.5%と過半数を占めており、次いで「まあ思う」が 26.7%、「どちらともいえない」が 11.5%となっている。

『思う』（「思う」と「まあ思う」を合算、以下同様）が 81.2%と 8 割強を占めており、『思わない』（「思わない」と「あまり思わない」を合算、以下同様）はわずか 7.1%にとどまっている。

【エリア別】



エリア	回答件数 (件)	思う	まあ思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体	1,396	54.5%	26.7%	11.5%	5.2%	1.9%	0.2%	81.2%	7.1%
佐賀・小城地区	494	61.9%	23.5%	10.1%	3.2%	1.2%	0.0%	85.4%	4.4%
東・西松浦地区	324	52.5%	27.2%	10.2%	7.7%	2.2%	0.3%	79.7%	9.9%
三養基・神埼地区	297	47.8%	31.6%	12.5%	5.7%	2.4%	0.0%	79.4%	8.1%
杵島・藤津地区	251	50.2%	28.3%	14.3%	5.2%	1.6%	0.4%	78.5%	6.8%

エリア別にみると、すべてのエリアで『思う』が 7 割を超えており、特に＜佐賀・小城地区＞では 8 割半ばと他のエリアに比べて高くなっている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	思う	まあ思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体	1,396	54.5%	26.7%	11.5%	5.2%	1.9%	0.2%	81.2%	7.1%
男性	665	58.0%	26.0%	11.1%	3.8%	1.1%	0.0%	84.0%	4.9%
女性	707	51.3%	27.7%	11.9%	6.5%	2.4%	0.1%	79.0%	8.9%

性別にみると、『思う』は＜男性＞で84.0%、＜女性＞で79.0%と、＜男性＞の方が高くなっている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	思う	まあ思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体	1,396	54.5%	26.7%	11.5%	5.2%	1.9%	0.2%	81.2%	7.1%
18・19歳	17	35.3%	35.3%	23.5%	5.9%	0.0%	0.0%	70.6%	5.9%
20～29歳	45	46.7%	17.8%	22.2%	8.9%	4.4%	0.0%	64.5%	13.3%
30～39歳	116	49.1%	29.3%	15.5%	5.2%	0.9%	0.0%	78.4%	6.1%
40～49歳	230	43.9%	33.0%	16.1%	6.1%	0.9%	0.0%	76.9%	7.0%
50～59歳	321	50.8%	29.6%	11.8%	5.6%	2.2%	0.0%	80.4%	7.8%
60～69歳	399	60.4%	24.1%	8.8%	5.3%	1.3%	0.3%	84.5%	6.6%
70歳以上	243	65.8%	22.2%	6.6%	2.5%	2.5%	0.4%	88.0%	5.0%

年齢別にみると、すべての年齢層で『思う』が6割を超えており、特に＜50～59歳＞＜60～69歳＞＜70歳以上＞では8割を超えている。一方、＜20～29歳＞では唯一6割台と他の年齢層に比べてやや低く、『思わない』も13.3%と県平均を大きく上回っている。

【県外居住年数別】

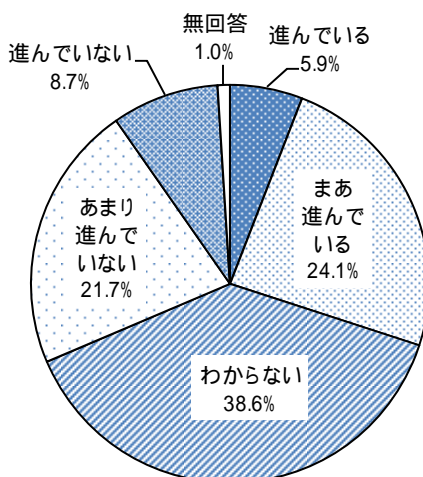
県外居住年数	回答件数 (件)	思う	まあ思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体	1,396	54.5%	26.7%	11.5%	5.2%	1.9%	0.2%	81.2%	7.1%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	61.3%	24.4%	9.4%	3.6%	1.3%	0.0%	85.7%	4.9%
2年未満	94	53.2%	27.7%	11.7%	6.4%	0.0%	1.1%	80.9%	6.4%
2～5年未満	202	55.4%	28.7%	10.4%	4.5%	1.0%	0.0%	84.1%	5.5%
5～10年未満	152	51.3%	30.3%	13.2%	3.3%	2.0%	0.0%	81.6%	5.3%
10年以上	347	44.7%	28.2%	14.7%	8.6%	3.5%	0.3%	72.9%	12.1%

県外居住年数別にみると、すべての区分で『思う』が7割を超えており、＜ずっと佐賀県に住んでいる(0年)＞では85.7%と他の区分に比べて高い。一方、＜10年以上＞では『思う』が唯一7割台にとどまり、他の区分に比べて低い傾向がみられる。

5. 地域づくりの取組みが進んでいますか

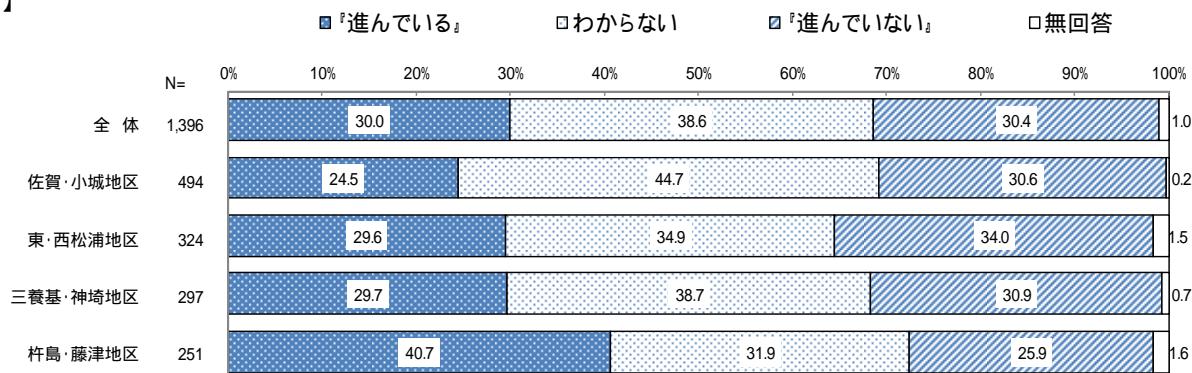
問 5 佐賀県では、自分たちが住む地域に誇りを持ち、地域の人たちが自ら考え実行する「自発の地域づくり」を支援しています。あなたがお住まいの地域では、伝統的なお祭りや工芸などの地域資源の活用、都市と農村との交流、空き家を活用した賑わいづくりなど地域づくりの取組みが進んでいますか。（○は1つだけ）

(N = 1,396)



全体では、「わからない」が 38.6%と最も高く、次いで「まあ進んでいる」が 24.1%、「あまり進んでいない」が 21.7%となっている。『進んでいる』（「進んでいる」と「まあ進んでいる」を合算、以下同様）は 30.0%、『進んでいない』（「進んでいない」と「あまり進んでいない」を合算、以下同様）は 30.4%と、ともに約 3 割と意見がわかれている。

【エリア別】



エリア	回答件数 (件)	進捗状況					合算		
		進んでいる	まあ進んでいる	わからない	あまり進んでいない	進んでいない	無回答	『進んでいる』	『進んでいない』
全体	1,396	5.9%	24.1%	38.6%	21.7%	8.7%	1.0%	30.0%	30.4%
佐賀・小城地区	494	3.0%	21.5%	44.7%	21.5%	9.1%	0.2%	24.5%	30.6%
東・西松浦地区	324	8.6%	21.0%	34.9%	21.3%	12.7%	1.5%	29.6%	34.0%
三養基・神埼地区	297	5.1%	24.6%	38.7%	23.2%	7.7%	0.7%	29.7%	30.9%
杵島・藤津地区	251	8.8%	31.9%	31.9%	21.9%	4.0%	1.6%	40.7%	25.9%

エリア別にみると、＜杵島・藤津地区＞では『進んでいる』が約 4 割となり、『進んでいない』の 25.9%を上回っている。一方、＜佐賀・小城地区＞＜東・西松浦地区＞では『進んでいない』が『進んでいる』を 4～6 ポイント上回っている。また、＜三養基・神埼地区＞では『進んでいる』および『進んでいない』がともに 3 割前後で大きな差はみられない。

【性別】

性別	回答件数 (件)	進んでいる	まあ 進んでいる	わからない	あまり進んで いない	進んで いない	無回答	『進んで いる』	『進んで いない』
全体	1,396	5.9%	24.1%	38.6%	21.7%	8.7%	1.0%	30.0%	30.4%
男性	665	5.6%	24.1%	36.7%	23.3%	9.5%	0.9%	29.7%	32.8%
女性	707	5.8%	24.2%	40.9%	20.4%	8.2%	0.6%	30.0%	28.6%

性別にみると、〈男性〉〈女性〉ともに『進んでいる』および『進んでいない』はそれぞれ 3 割前後であり、大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	進んでいる	まあ 進んでいる	わからない	あまり進んで いない	進んで いない	無回答	『進んで いる』	『進んで いない』
全体	1,396	5.9%	24.1%	38.6%	21.7%	8.7%	1.0%	30.0%	30.4%
18・19歳	17	11.8%	41.2%	35.3%	11.8%	0.0%	0.0%	53.0%	11.8%
20～29歳	45	6.7%	8.9%	44.4%	24.4%	13.3%	2.2%	15.6%	37.7%
30～39歳	116	4.3%	23.3%	49.1%	11.2%	12.1%	0.0%	27.6%	23.3%
40～49歳	230	5.7%	27.0%	43.5%	16.1%	7.4%	0.4%	32.7%	23.5%
50～59歳	321	5.9%	28.7%	34.3%	21.8%	8.4%	0.9%	34.6%	30.2%
60～69歳	399	4.3%	22.3%	35.8%	26.6%	10.3%	0.8%	26.6%	36.9%
70歳以上	243	7.8%	20.6%	38.7%	25.1%	6.6%	1.2%	28.4%	31.7%

年齢別にみると、〈18・19歳〉〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉では『進んでいる』が『進んでいない』を上回っており、特に〈18・19歳〉では『進んでいる』が 5 割を超えている。一方、〈20～29歳〉〈60～69歳〉〈70歳以上〉では『進んでいない』が『進んでいる』を上回っている。

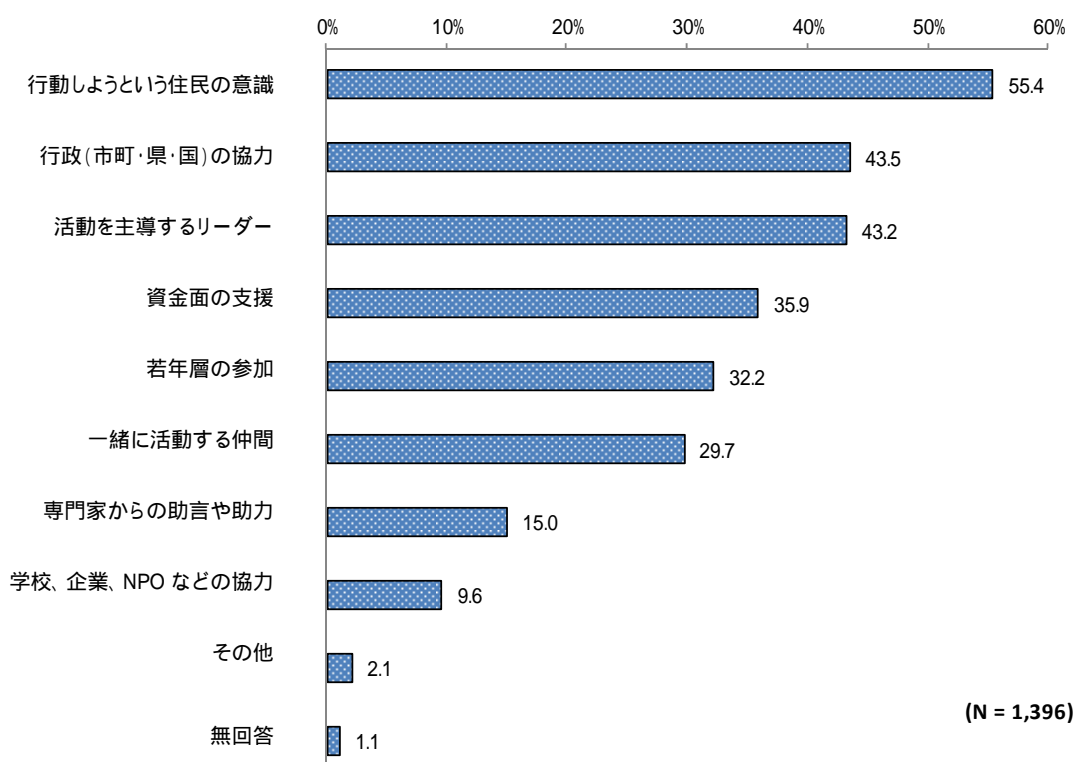
【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	進んでいる	まあ 進んでいる	わからない	あまり進んで いない	進んで いない	無回答	『進んで いる』	『進んで いない』
全体	1,396	5.9%	24.1%	38.6%	21.7%	8.7%	1.0%	30.0%	30.4%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	5.4%	22.6%	39.8%	22.1%	9.6%	0.5%	28.0%	31.7%
2年未満	94	8.5%	23.4%	31.9%	22.3%	12.8%	1.1%	31.9%	35.1%
2～5年未満	202	7.4%	27.2%	35.1%	22.8%	6.9%	0.5%	34.6%	29.7%
5～10年未満	152	6.6%	22.4%	37.5%	22.4%	9.9%	1.3%	29.0%	32.3%
10年以上	347	4.6%	25.4%	41.5%	20.2%	7.2%	1.2%	30.0%	27.4%

県外居住年数別にみると、〈ずっと佐賀県に住んでいる(0年)〉〈2年未満〉〈5～10年未満〉では『進んでいない』が『進んでいる』を上回っている。一方、〈2～5年未満〉〈10年以上〉では『進んでいる』が『進んでいない』を上回っている。

6. 地域づくりの取組みに必要だと思うこと

問 6 地域づくりの取組みを進める場合に、必要だと思うものを教えてください。(○は3つまで)



全体では、「行動しようという住民の意識」が 55.4%と唯一過半数を超え、次いで「行政（市町・県・国）の協力」が 43.5%、「活動を主導するリーダー」が 43.2%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	行動しようという住民の意識	行政(市町・県・国)の協力	活動を主導するリーダー	資金面の支援	若年層の参加	一緒に活動する仲間	専門家からの助言や助力	学校、企業、NPOなどの協力	その他	無回答
全体	1,396	55.4%	43.5%	43.2%	35.9%	32.2%	29.7%	15.0%	9.6%	2.1%	1.1%
佐賀・小城地区	494	57.9%	41.9%	41.9%	33.4%	34.4%	30.8%	15.0%	9.1%	2.2%	0.8%
東・西松浦地区	324	51.9%	43.2%	44.4%	41.7%	29.6%	29.3%	15.7%	9.3%	2.2%	1.2%
三養基・神埼地区	297	57.6%	43.8%	45.5%	32.7%	29.3%	29.3%	15.8%	10.8%	2.4%	1.0%
杵島・藤津地区	251	53.4%	47.0%	42.2%	37.5%	33.5%	28.7%	13.9%	8.4%	1.6%	0.8%

エリア別にみると、すべてのエリアで「行動しようという住民の意識」が最も高く、5割を超えている。また、いずれのエリアでも「行政（市町・県・国）の協力」または「活動を主導するリーダー」が 2～3 番目に続いており、エリアにかかわらず、これらの項目が高くなっている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	行動しようという住民の意識	行政(市町・県・国)の協力	活動を主導するリーダー	資金面の支援	若年層の参加	一緒に活動する仲間	専門家からの助言や助力	学校、企業、NPOなどの協力	その他	無回答
全体	1,396	55.4%	43.5%	43.2%	35.9%	32.2%	29.7%	15.0%	9.6%	2.1%	1.1%
男性	665	52.8%	42.6%	46.3%	35.8%	32.9%	28.7%	14.7%	9.9%	2.7%	1.1%
女性	707	58.3%	44.8%	40.3%	36.2%	31.5%	30.8%	15.6%	9.3%	1.6%	0.7%

性別にみると、＜男性＞＜女性＞ともに「行動しようという住民の意識」が最も高く、特に＜女性＞では 6割弱を占めている。次いで、＜男性＞では「活動を主導するリーダー」、＜女性＞では「行政（市町・県・国）の協力」であり、ともに 4割半ばとなっている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	行動しよう という住民の 意識	行政(市町・ 県・国)の 協力	活動を主導 するリーダー	資金面の 支援	若年層の 参加	一緒に活動 する仲間	専門家から の助言や 助力	学校、企業、 NPO などの 協力	その他	無回答
全体	1,396	55.4%	43.5%	43.2%	35.9%	32.2%	29.7%	15.0%	9.6%	2.1%	1.1%
18・19歳	17	41.2%	17.6%	5.9%	23.5%	70.6%	35.3%	5.9%	17.6%	5.9%	5.9%
20～29歳	45	37.8%	28.9%	37.8%	37.8%	53.3%	26.7%	15.6%	11.1%	2.2%	2.2%
30～39歳	116	50.9%	42.2%	49.1%	44.8%	32.8%	29.3%	10.3%	11.2%	1.7%	0.0%
40～49歳	230	56.5%	39.1%	38.7%	40.9%	37.0%	25.7%	13.9%	17.8%	2.2%	0.4%
50～59歳	321	53.0%	43.9%	45.2%	39.6%	26.8%	33.3%	15.3%	10.0%	2.8%	0.9%
60～69歳	399	60.4%	45.4%	42.6%	32.3%	29.1%	32.1%	17.3%	8.0%	1.5%	1.0%
70歳以上	243	56.8%	50.6%	46.9%	28.4%	32.9%	25.1%	15.6%	2.5%	1.6%	1.2%

年齢別にみると、<30～39歳>以上の年齢層では「行動しようという住民の意識」が最も高く、いずれも5割を超えている。一方、<18・19歳><20～29歳>では「若年層の参加」が5割を超えて最も高くなっており、特に<18・19歳>では約7割と突出している。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	行動しよう という住民の 意識	行政(市町・ 県・国)の 協力	活動を主導 するリーダー	資金面の 支援	若年層の 参加	一緒に活動 する仲間	専門家から の助言や 助力	学校、企業、 NPO などの 協力	その他	無回答
全体	1,396	55.4%	43.5%	43.2%	35.9%	32.2%	29.7%	15.0%	9.6%	2.1%	1.1%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	56.8%	47.0%	40.1%	35.8%	30.7%	30.6%	14.1%	9.2%	1.4%	0.5%
2年未満	94	58.5%	35.1%	42.6%	35.1%	42.6%	26.6%	17.0%	10.6%	2.1%	1.1%
2～5年未満	202	52.0%	41.6%	49.0%	39.1%	34.2%	29.2%	11.4%	11.9%	1.0%	0.5%
5～10年未満	152	53.9%	43.4%	42.1%	34.2%	34.9%	28.3%	16.4%	6.6%	3.3%	2.0%
10年以上	347	55.3%	42.1%	44.7%	36.6%	28.2%	29.4%	17.3%	10.4%	3.5%	1.2%

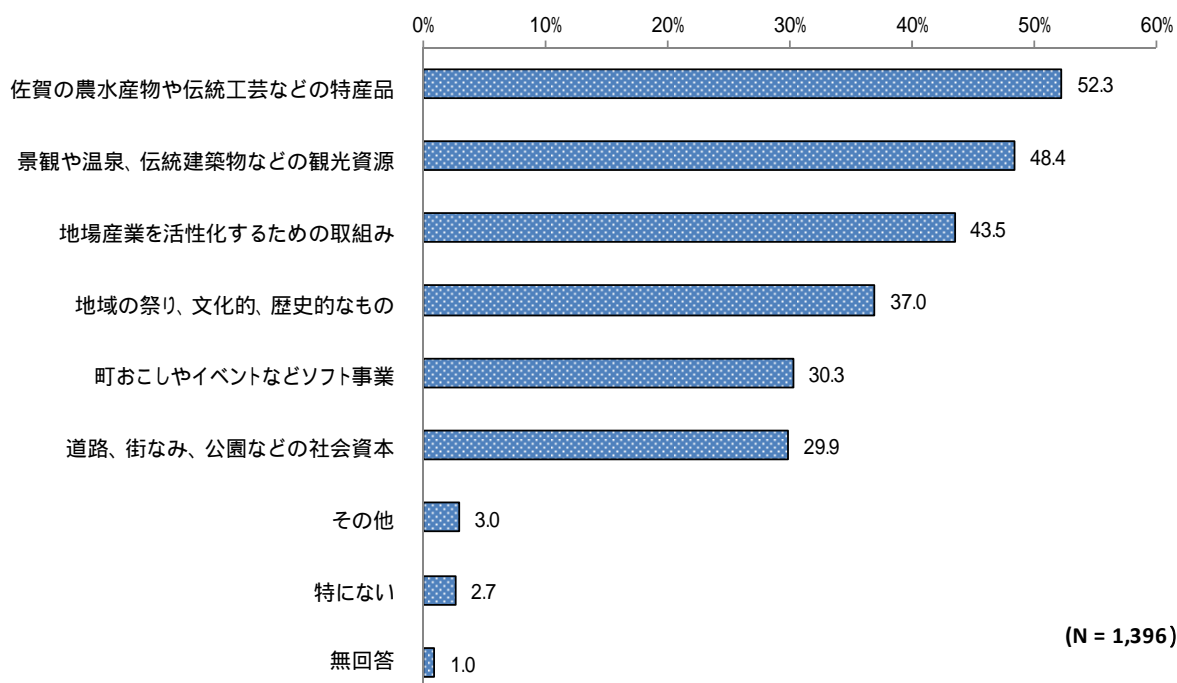
県外居住年数別にみると、すべての区分で「行動しようという住民の意識」が5割を超えて最も高い。2番目に高い項目は、<ずっと佐賀県に住んでいる(0年)><5～10年未満>では「行政(市町・県・国)の協力」、<2～5年未満><10年以上>では「活動を主導するリーダー」、<2年未満>では「活動を主導するリーダー」および「若年層の参加」となっている。

【選択肢『その他』に記載された意見】

- ・必要性を感じない(男性、18～19歳、佐賀・小城地区)
- ・活動の拠点(男性、20～29歳、三養基・神埼地区)
- ・土地の有効活用(女性、30～39歳、東・西松浦地区)
- ・取組みに対する認知度を上げる(女性、40～49歳、佐賀・小城地区)
- ・PR力(女性、40～49歳、三養基・神埼地区、他1件)
- ・地域の資源(男性、50～59歳、佐賀・小城地区)
- ・意識改革(女性、50～59歳、佐賀・小城地区)
- ・地元クリエイターへの理解と支援(男性、50～59歳、佐賀・小城地区)
- ・地域産業者の協力(女性、50～59歳、東・西松浦地区)
- ・住民負担の軽減(男性、50～59歳、杵島・藤津地区)
- ・市長、県議、市議(男性、60～69歳、杵島・藤津地区)

7. 新しい視点で取り組んだほうがよいと思うこと

問 7 県では、県民の皆様がこれまで培ってきた県産品や文化伝統などが持つ、本物の魅力を最大限に発揮させるため「さがデザイン」という新しい視点で、それを磨き上げ、新たな価値を持たせる取り組みや情報発信などを行っています。あなたはどんなものに取り組んだほうがよいと思いますか。(○は3つまで)



全体では、「佐賀の農水産物や伝統工芸などの特産品」が 52.3%と唯一過半数を超え、次いで「景観や温泉、伝統建築物などの観光資源」が 48.4%、「地場産業を活性化するための取り組み」が 43.5%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	佐賀の農水産物や伝統工芸などの特産品	景観や温泉、伝統建築物などの観光資源	地場産業を活性化するための取り組み	地域の祭り、文化的、歴史的なもの	町おこしやイベントなどソフト事業	道路、街なみ、公園などの社会資本	その他	特にない	無回答
全体	1,396	52.3%	48.4%	43.5%	37.0%	30.3%	29.9%	3.0%	2.7%	1.0%
佐賀・小城地区	494	55.1%	50.0%	38.3%	35.0%	28.5%	30.0%	2.6%	4.5%	0.8%
東・西松浦地区	324	50.9%	42.9%	50.3%	47.2%	28.1%	25.9%	1.9%	1.5%	1.2%
三養基・神埼地区	297	52.5%	49.8%	43.1%	34.3%	32.0%	33.0%	2.7%	2.7%	0.7%
杵島・藤津地区	251	49.0%	52.2%	44.2%	32.7%	32.7%	30.3%	5.6%	0.8%	0.8%

エリア別にみると、＜佐賀・小城地区＞＜東・西松浦地区＞＜三養基・神埼地区＞では「佐賀の農水産物や伝統工芸などの特産品」が 5 割を超えて最も高い。一方、＜杵島・藤津地区＞では「景観や温泉、伝統建築物などの観光資源」が 5 割強と最も高くなっている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	佐賀の農水産物や伝統工芸などの特産品	景観や温泉、伝統建築物などの観光資源	地場産業を活性化するための取り組み	地域の祭り、文化的、歴史的なもの	町おこしやイベントなどソフト事業	道路、街なみ、公園などの社会資本	その他	特にない	無回答
全体	1,396	52.3%	48.4%	43.5%	37.0%	30.3%	29.9%	3.0%	2.7%	1.0%
男性	665	50.5%	46.3%	41.8%	38.6%	29.6%	31.1%	3.0%	3.3%	1.1%
女性	707	54.3%	50.8%	44.7%	35.5%	30.6%	28.6%	3.1%	2.1%	0.6%

性別にみると、＜男性＞＜女性＞ともに「佐賀の農水産物や伝統工芸などの特産品」が 5 割を超えて最も高く、特に＜女性＞では 54.3%と、＜男性＞の 50.5%に比べてやや高い。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	佐賀の農水産物や伝統工芸などの特産品	景観や温泉、伝統建築物などの観光資源	地場産業を活性化するための取り組み	地域の祭り、文化的、歴史的なもの	町おこしやイベントなどソフト事業	道路、街なみ、公園などの社会資本	その他	特にない	無回答
全体	1,396	52.3%	48.4%	43.5%	37.0%	30.3%	29.9%	3.0%	2.7%	1.0%
18・19歳	17	29.4%	47.1%	0.0%	41.2%	41.2%	35.3%	0.0%	11.8%	5.9%
20～29歳	45	35.6%	66.7%	15.6%	46.7%	40.0%	37.8%	4.4%	0.0%	2.2%
30～39歳	116	44.8%	58.6%	37.1%	34.5%	41.4%	35.3%	0.9%	1.7%	0.0%
40～49歳	230	45.7%	52.6%	42.6%	33.9%	30.0%	31.3%	4.8%	2.6%	0.0%
50～59歳	321	52.0%	54.2%	45.5%	31.5%	26.8%	28.3%	4.4%	2.2%	1.2%
60～69歳	399	57.9%	43.6%	50.9%	37.3%	28.8%	29.3%	2.0%	2.3%	0.5%
70歳以上	243	58.8%	37.9%	39.9%	46.1%	28.8%	25.9%	2.1%	4.5%	1.6%

年齢別にみると、＜50～59歳＞以下の年齢層では「景観や温泉、伝統建築物などの観光資源」が5割弱～6割半ばとなって最も高いのに対し、＜60～69歳＞以上の年齢層では「佐賀の農水産物や伝統工芸などの特産品」が6割弱を占めて最も高くなっている。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	佐賀の農水産物や伝統工芸などの特産品	景観や温泉、伝統建築物などの観光資源	地場産業を活性化するための取り組み	地域の祭り、文化的、歴史的なもの	町おこしやイベントなどソフト事業	道路、街なみ、公園などの社会資本	その他	特にない	無回答
全体	1,396	52.3%	48.4%	43.5%	37.0%	30.3%	29.9%	3.0%	2.7%	1.0%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	52.6%	48.5%	41.4%	36.0%	30.6%	30.4%	2.0%	2.9%	0.9%
2年未満	94	48.9%	41.5%	45.7%	44.7%	36.2%	22.3%	4.3%	1.1%	1.1%
2～5年未満	202	52.0%	44.1%	45.5%	43.6%	26.7%	30.2%	3.0%	1.5%	0.5%
5～10年未満	152	55.3%	52.0%	42.1%	32.9%	28.9%	32.9%	3.3%	4.6%	1.3%
10年以上	347	51.9%	54.5%	45.2%	33.4%	28.8%	29.4%	4.0%	2.9%	0.6%

県外居住年数別にみると、＜5～10年未満＞以下では「佐賀の農水産物や伝統工芸などの特産品」が5割弱から5割半ばを占めて最も高いが、一方、＜10年以上＞では「景観や温泉、伝統建築物などの観光資源」が5割半ばと最も高くなっている。「景観や温泉、伝統建築物などの観光資源」については、概ね県外居住年数が高いほど高い傾向がみられる。

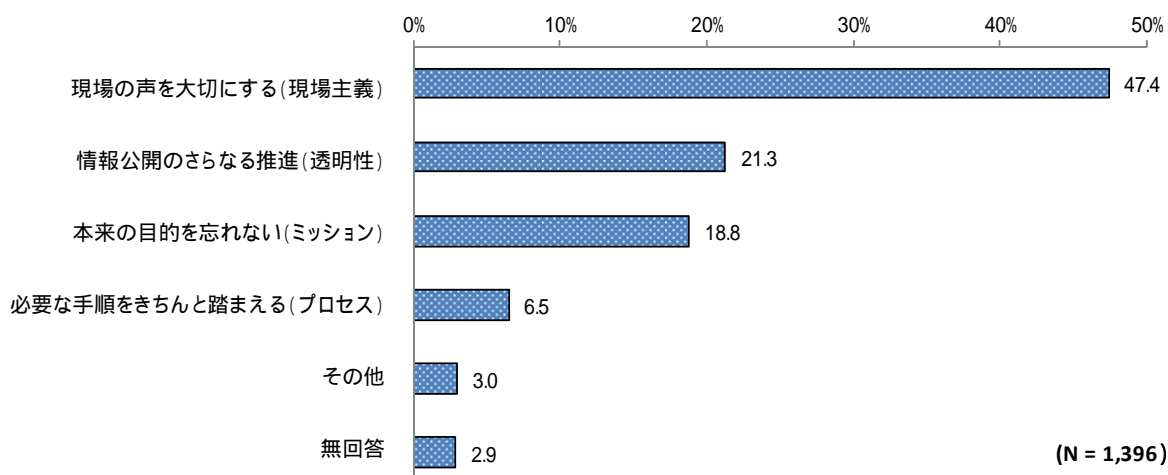
【選択肢『その他』に記載された意見】

- ・新しいヒーロ、ヒロインの登場（男性、20-29歳、杵島・藤津地区）
- ・佐賀駅開発、屋台など（男性、30～39歳、杵島・藤津地区）
- ・福岡の糸島のようにして本、マスコミに伝える。自然とおしゃれ芸術（女性、40～49歳、東・西松浦地区）
- ・佐賀を舞台にしたアニメ（男性、40～49歳、佐賀・小城地区）
- ・中途半端でない集客力のある常設観光地（女性、40～49歳、佐賀・小城地区）
- ・精神面（心の癒し）（男性、40～49歳、東・西松浦地区）
- ・ブランド作り、PR力（女性、40～49歳、三養基・神埼地区）
- ・資源の商品化、マーケティング（男性、40～49歳、杵島・藤津地区）
- ・佐賀と言えば○○○という食品・料理（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・昔ながらが残る農村などの原風景の確保、絵画、写真、海外の人向けにも残す風景のデザイン（女性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・全国TVへの情報発信（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・焼き物（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・地元クリエイターのコンテンツ作りへの継続的支援（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・佐賀県の飲食店などが積極的に有田焼の器などを使用して、来店客にPRする（女性、50～59歳、杵島・藤津地区）
- ・自然を自慢できる取り組み。例えば蛸観賞や桜など（女性、60～69歳、東・西松浦地区）
- ・SNSの活用、耕作放棄地の活用（女性、60～69歳、東・西松浦地区）
- ・佐賀独自の風景を生かした取り組み、昔ながらの田園風景等（女性、60～69歳）
- ・イカシューマイ、松浦漬（男性、70歳以上、東・西松浦地区）
- ・地域から見る夕やけ（女性、70歳以上、杵島・藤津地区）

8 . 県政運営に特に必要だと思うこと

問 8 佐賀県では、県政運営の透明度を高めるために、例えば重要な会議などはマスコミを通じて公開したり、県民の皆様から寄せられる県政への様々なご意見やご提案を県のホームページに掲載するなど、情報を積極的に公開しています。また、県民の皆様と膝（ひざ）を突き合わせ、その声に耳を傾けながら、県民の皆様の想いにしっかりと応えていくことが重要だと考えていることから、「現場（現場主義）」、「ミッション（任務）」、「プロセス（手順）」を県政運営のキーワードとしています。

あなたがこれからの県政運営に特に必要だと思うものを教えてください。（○は1つだけ）



全体では、「現場の声を大切にする（現場主義）」が 47.4%と最も高く、次いで「情報公開のさらなる推進（透明性）」が 21.3%、「本来の目的を忘れない（ミッション）」が 18.8%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	現場の声を 大切にする (現場主義)	情報公開の さらなる推進 (透明性)	本来の目的 を忘れない (ミッション)	必要な手順 をきちんと 踏まえる (プロセス)	その他	無回答
全体	1,396	47.4%	21.3%	18.8%	6.5%	3.0%	2.9%
佐賀・小城地区	494	46.0%	20.4%	21.3%	5.5%	4.5%	2.4%
東・西松浦地区	324	50.9%	21.3%	16.0%	6.5%	1.5%	3.7%
三養基・神埼地区	297	44.1%	23.2%	19.5%	7.4%	2.7%	3.0%
杵島・藤津地区	251	49.8%	20.7%	16.7%	8.0%	2.8%	2.0%

エリア別にみると、すべてのエリアで「現場の声を大切にする（現場主義）」が最も高く、特に＜東・西松浦地区＞＜杵島・藤津地区＞では約 5 割を占めている。2 番目に高い項目は、＜佐賀・小城地区＞では「本来の目的を忘れない（ミッション）」であり、それ以外のエリアでは「情報公開のさらなる推進（透明性）」となっている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	現場の声を 大切にする (現場主義)	情報公開の さらなる推進 (透明性)	本来の目的 を忘れない (ミッション)	必要な手順 をきちんと 踏まえる (プロセス)	その他	無回答
全体	1,396	47.4%	21.3%	18.8%	6.5%	3.0%	2.9%
男性	665	45.6%	22.7%	19.4%	6.5%	3.6%	2.3%
女性	707	49.5%	19.9%	18.5%	6.5%	2.5%	3.0%

性別にみると、＜男性＞＜女性＞ともに「現場の声を大切にする（現場主義）」が最も高く、その割合は＜男性＞で45.6%、＜女性＞で49.5%と、＜女性＞の方がやや高い。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	現場の声を 大切にする (現場主義)	情報公開の さらなる推進 (透明性)	本来の目的 を忘れない (ミッション)	必要な手順 をきちんと 踏まえる (プロセス)	その他	無回答
全体	1,396	47.4%	21.3%	18.8%	6.5%	3.0%	2.9%
18・19歳	17	58.8%	5.9%	29.4%	5.9%	0.0%	0.0%
20～29歳	45	40.0%	17.8%	28.9%	2.2%	4.4%	6.7%
30～39歳	116	53.4%	20.7%	12.9%	8.6%	4.3%	0.0%
40～49歳	230	51.7%	16.5%	20.9%	3.9%	3.9%	3.0%
50～59歳	321	46.1%	19.9%	22.1%	6.9%	3.4%	1.6%
60～69歳	399	48.6%	23.3%	15.5%	7.3%	2.8%	2.5%
70歳以上	243	42.4%	25.9%	18.9%	7.0%	1.2%	4.5%

年齢別にみると、すべての年齢層で「現場の声を大切にする（現場主義）」が最も高く、その割合は概ね年齢が若いほど高くなっている。また、＜18・19歳＞＜20～29歳＞では「本来の目的を忘れない（ミッション）」が3割弱と、他の年齢層に比べて高い。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	現場の声を 大切にする (現場主義)	情報公開の さらなる推進 (透明性)	本来の目的 を忘れない (ミッション)	必要な手順 をきちんと 踏まえる (プロセス)	その他	無回答
全体	1,396	47.4%	21.3%	18.8%	6.5%	3.0%	2.9%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	52.4%	18.8%	17.4%	6.9%	2.4%	2.2%
2年未満	94	45.7%	26.6%	16.0%	5.3%	2.1%	4.3%
2～5年未満	202	52.5%	19.8%	18.3%	6.9%	0.5%	2.0%
5～10年未満	152	41.4%	27.0%	17.8%	4.6%	7.2%	2.0%
10年以上	347	40.3%	22.5%	23.6%	6.1%	4.0%	3.5%

県外居住年数別にみると、すべての区分で「現場の声を大切にする（現場主義）」が4割を超えて最も高く、特に＜ずっと佐賀県に住んでいる（0年）＞＜2～5年未満＞では5割強を占めている。

【選択肢『その他』に記載された意見】

- ・本来の目的というか、わくわくするようなアイデアや青写真（女性、20～29 歳、佐賀・小城地区）
- ・計画を進める、実行性（男性、30～39 歳、佐賀・小城地区）
- ・人的資本の活用（男性、30～39 歳、佐賀・小城地区）
- ・確実性（男性、30～39 歳、佐賀・小城地区）
- ・県民の声（若年層）（女性、30～39 歳、東・西松浦地区）
- ・データサイエンス（男性、30～39 歳、三養基・神埼地区）
- ・県職員が地域の事を理解していない、理解しようとしていない（男性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・創造性。観光資源はあると思うが、そこに集客力が不足していると思う。下関の唐戸市場のような場所が佐賀にもあればよい。佐賀城本丸のイベントも、とても楽しいが、他県から集まるほどではないので、バルーンフェスタとまではいかななくても常設のものでいつでもいけるところがあればよい（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・3 年事業ではなく継続すること（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・財政健全化（男性、40～49 歳、東・西松浦地区）
- ・中長期の目標を設定し、達成すること（男性、40～49 歳、三養基・神埼地区）
- ・お金の流れの透明性、正当性（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・ネガティブな意見の掘り起こし（佐賀市の例でいえば、だれもバルーンミュージアムが成功するとは思っていないのに「声を出しても無駄」というムードが蔓延していた。そういうネガな意見を掘り起こすことも必要では）（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・県民一人一人の士気（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・現場の声を発しやすい環境づくり（男性、50～59 歳、三養基・神埼地区）
- ・ものづくり支援（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・少数派の意見にも耳を傾けること（女性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・決定に至ったプロセスの情報公開（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・県と各市町との連携、情報の共有（男性、50～59 歳、杵島・藤津地区）
- ・トップの指導力、包括力（女性、60～69 歳、佐賀・小城地区）
- ・“付度”のない透明性（女性、60～69 歳、佐賀・小城地区）
- ・将来のビジョン（男性、60～69 歳、三養基・神埼地区）
- ・弱い者のことを考えるまわりの人（女性、60～69 歳、三養基・神埼地区）
- ・県民というだけにとどまらず、人類として未来につながる正しい選択をする（女性、60～69 歳、杵島・藤津地区）
- ・まず県政に携わる方々が同じ方向を見ていく（女性、60～69 歳、杵島・藤津地区）
- ・行動力（女性、佐賀・小城地区）

【寄せられた自由意見】

- | |
|--|
| ・色々な市民の声を聴ける行政との交流の機会を設定し、より良い生活に導ける県政につなげて欲しい。10代、20代、30代・・・年齢によって考え方や教育の受け方？の違いで、感覚も随分違いを感じる。お互いに理解して共存して、尊重していきながら、活性化できたらいいと思います。（女性、50～59 歳、三養基・神埼地区） |
| ・県民の発する声（特に少数意見も含めて）を大事に受け止めて欲しい。（男性、60～69 歳、佐賀・小城地区） |
| ・県民意識調査など、他の面でも広く調査してほしい。県民と県職員の考えの違いは何なのか知ってほしい。（女性、60～69 歳、佐賀・小城地区） |
| ・地域の特性として、封建的で排他的な所が強い。もっと開かれた地域住民の意識を変える必要がある。（男性、70 歳以上、三養基・神埼地区） |